

「後志ご当地クイズ」の実践例

1. この取り組みの目的

小樽では、ご当地検定として「おたる案内人検定」が実施されている。ただし、その問題の難易度は非常に高く、一般的な市民にとって敷居が高い検定であるといえるだろう。そこで、この取り組みでは、一般的な地域住民に受け入れられるご当地クイズのあり方について、テスト理論に基づく作題と検証を実施する。

これまでの取り組みにおいて、2016年11月に、小樽市民にとって身近なご当地検定のあり方について検証するため、テスト理論に基づく作題と検証の実施を行っている。その結果より、ご当地検定の問題検証に際して、テスト理論は有益なツールとして用いることが可能であることが確認されている。この背景に基づき、次に後志地域におけるご当地検定に注目した。これまで、特に後志地域（総合振興局）を対象としたご当地検定・ご当地クイズは見当たらない。このことから、後志地域を対象とした問題の作成と、そのテスト問題の質の検討について実施する。

この取り組みの主な目的として、「地域の方々に納得されるご当地検定」のあり方に関する検討が挙げられる。後志をテーマに問題作成を行い、実際に回答を集めることで、基礎的な知見の収集が期待される。その際の観点として「テスト理論」の考え方をを用いる。テスト理論とは、よりよいテスト問題を検討することを目的とした考え方の総称である。このように、作題と検証を通して、より身近なご当地検定のあり方について、基礎的な知見が得られることが期待される。

2. 本取り組みの方法

A. 質問項目の作成

当初、小樽商大の学生を対象として、テスト問題の作成に関する手法や理論的な背景を指導し、実際に作題させることを考えていた。しかし、実際に学生に指導を行ったところ、テスト理論と同時に、後志管内に関する情報収集は非常に難しく、学生が実際に作題した問題は、実践に用いるのは困難であった。そのため、本取り組みの調査者が独自に調査を行い、クイズ問題を設計した。

B. ご当地検定の意図

「おたる案内人検定」においては、幅広い分野から知識を問うものであり、その回答やフィードバックが難しいことが考えられた。そこで、しりべし教養クイズにおいては、すぐに質問項目の解答を表示するとともに、簡単なフィードバックを行うこととした。これにより、「よく内容を知らなくても、解いて楽しいクイズ」について検討を行うことが可能である。

3. 「しりべし教養クイズ」の質問項目と調査結果

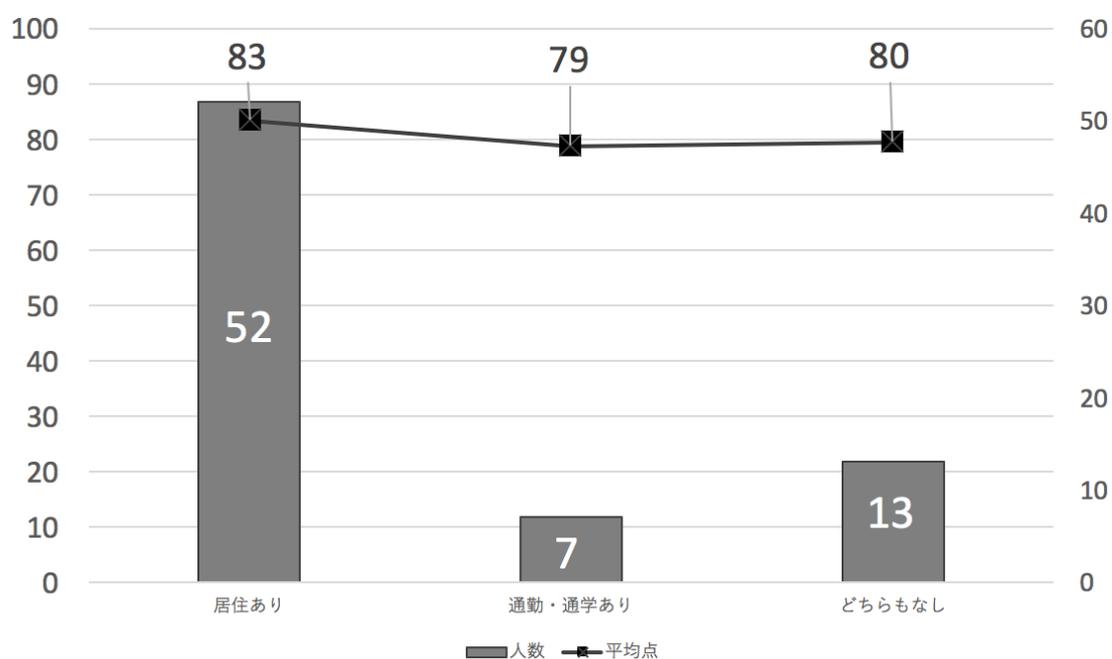
2017年3月1日から10日にかけて、実際にウェブ上で「しりべし教養クイズ」を実施した。問題の構成は、以下の通りであった。それぞれの質問と解答、および全体の解答傾向などを以下に示す。

[練習問題 (1問×2点)]

[初級編 (7問×7点)]

[上級編 (7問×7点)]

[解答者の背景情報について]



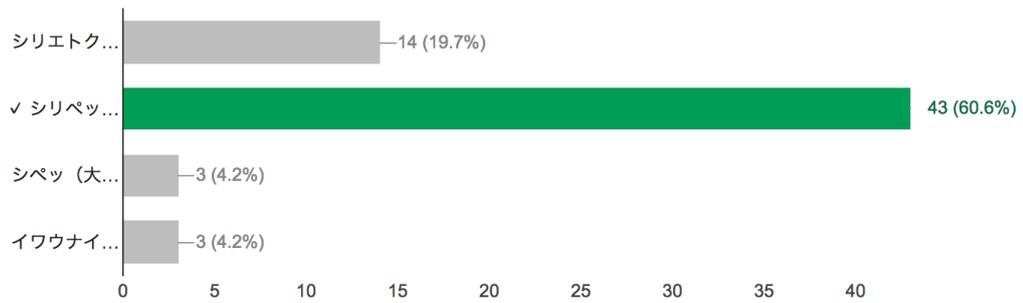
「後志の居住経験あり、通勤と通学経験あり、どちらもなし」の3群に注目し、人数と平均点のグラフ化を行った。その結果、どのグループにおいても、80点近い平均点が得られていた。

当初の目的は、後志と関係が深いほど、よく問題を理解できるクイズ問題を作成することであった。しかし、作成したクイズ問題は、この意図を反映するものではなかった。その一方、後志について深い知識がなくても、解きながら学ぶことができるクイズとなっていた可能性が考えられる。

【練習問題（1問×2点）】

【練習問題】後志（しりべし）は、1市13町6村からなる北海道の総合振興局の1つです。このうち、後志の語源となったアイヌ語と、その意味として、適切なものはどれでしょうか。

43/71 件の正しい回答

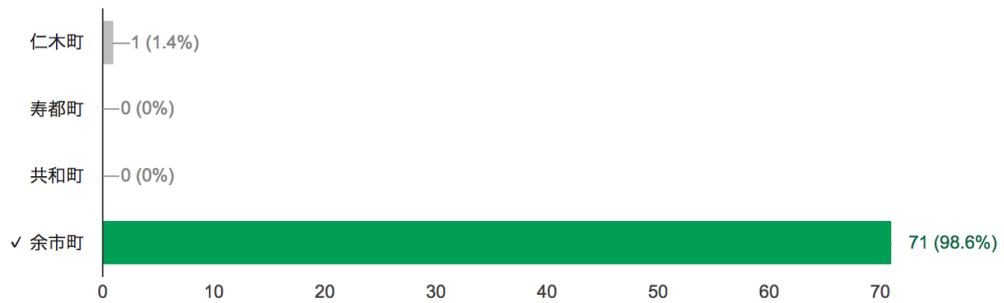


→ それぞれ「シリエトク（知床）」「シリペツ（後志）」「シペツ（標津）」「イワウナイ（岩内）」となります。北海道の地名には、アイヌ語を語源とし、読み方が難しいものがあります。

【初級編（7問×7点）】

リンゴの栽培が盛んであり、ニッカウヰスキーが創業した市町村（当時、大日本果汁株式会社）はどれでしょうか。

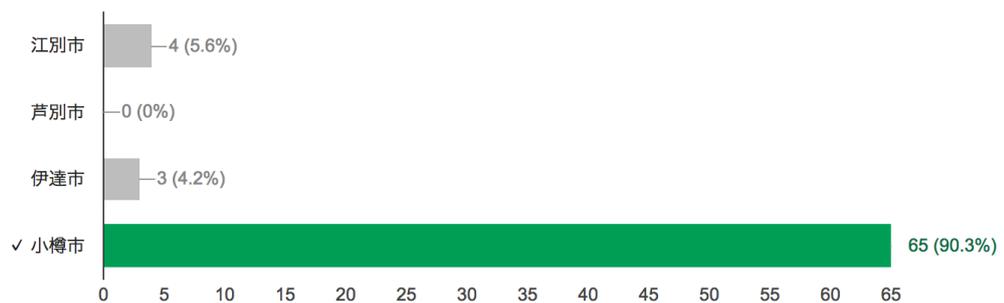
71/72 件の正しい回答



→ NHK 朝の連続ドラマ「マッサン」で注目された通り、余市ではニッカウヰスキー工場（蒸留所）を見学することができます。

後志で最も人口が多く、道道1号線の起点となっている自治体はどれでしょうか。

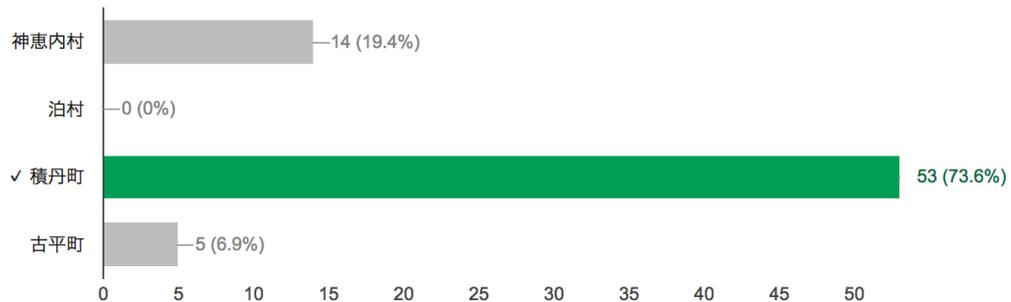
65/72 件の正しい回答



→ 道道1号線小樽定山溪線は、小樽市から札幌市南区（定山溪温泉）に抜けることができます。

積丹（しゃこたん）半島の先端にある神威岬は、どの自治体にあるものでしょうか。

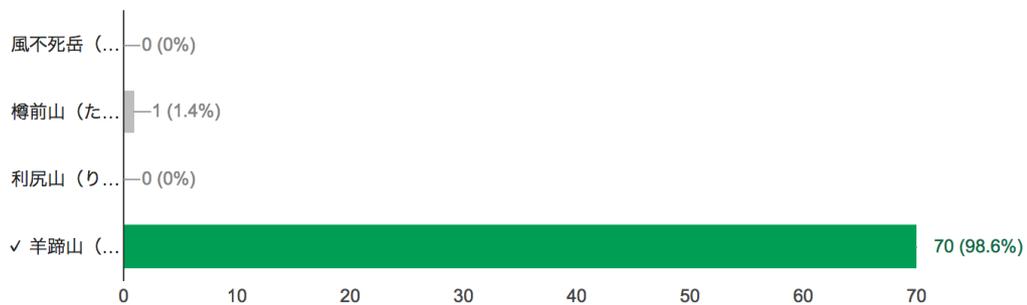
53/72 件の正しい回答



→ 積丹半島の先端、神威岬は積丹町に位置します。ややエメラルドを帯びた独特の色合いは、シャコタンブルーと呼ばれています。

後志管内の5つの自治体（ニセコ町、倶知安町、喜茂別町、真狩村、京極町）にまたがる活火山であり、蝦夷富士とも呼ばれる山はどれでしょうか。

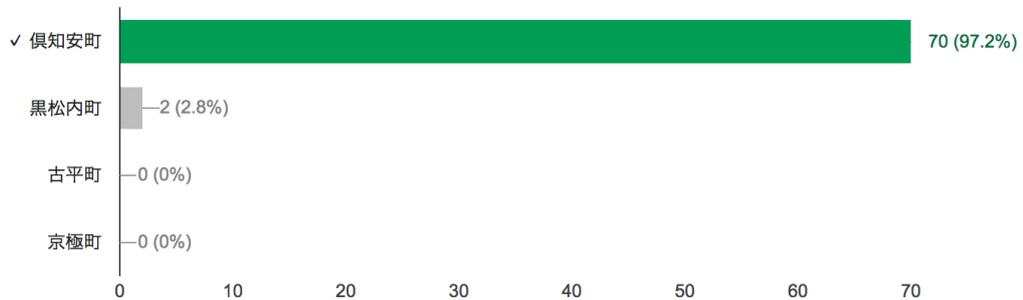
70/71 件の正しい回答



→ 羊蹄山（ようていざん）は、標高 1,898m のほぼ円錐形の火山です。その整った姿から、蝦夷富士（えぞふじ）とも呼ばれています。登頂するには 10 時間程度を見込んでおく必要があります。

後志総合振興局の位置する自治体であり、アイヌ語「クッシャニ（細い部分を流れ出るところ）」から名付けられた市町村はどれでしょうか。

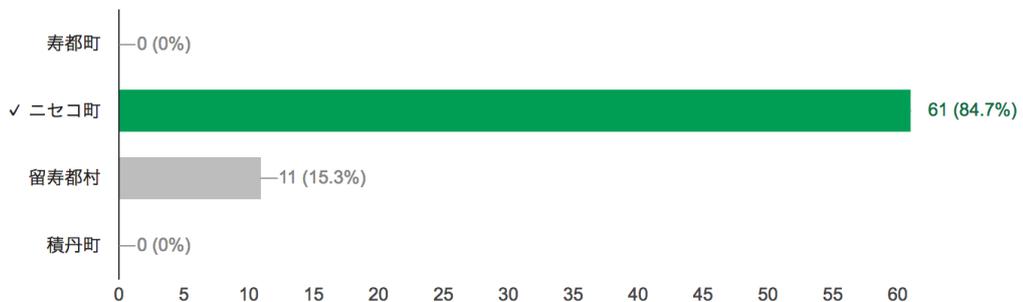
70/72 件の正しい回答



→ 後志総合振興局の所在地は、倶知安町（くっちゃん町）です。問題文の通り、北海道にはアイヌ語由来の地名が数多く存在します。なかには、北海道民にも読めない場合があります。

北海道有数のアウトドア・ウィンタースポーツで有名な自治体であり、かつて観光地に合わせて町名を改称したことがある市町村はどれでしょうか。

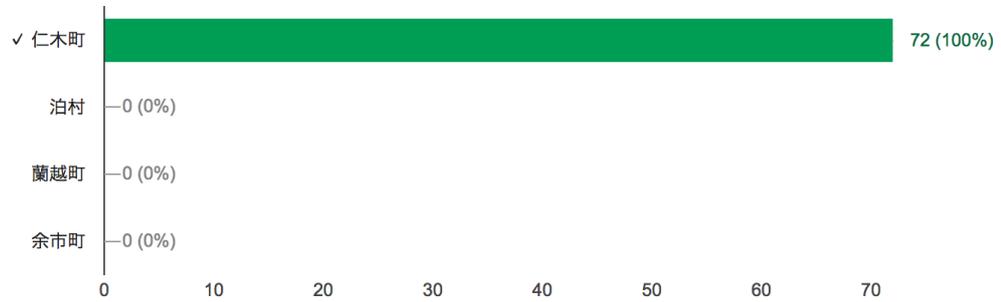
61/72 件の正しい回答



→ かつて国鉄時代、駅名には地名しか認められませんでした。これを受けて、1964年（昭和39年）、それまでの狩太町（かりぶとちょう）から、ニセコ町に町名が変更されました。その4年後、狩太駅からニセコ駅に駅名が変更されました。

果樹栽培が盛んで「さくらんぼフェスティバル」が開催され、マスコットキャラクター「ニキボー」がPRする自治体はどれでしょうか。

72/72 件の正しい回答

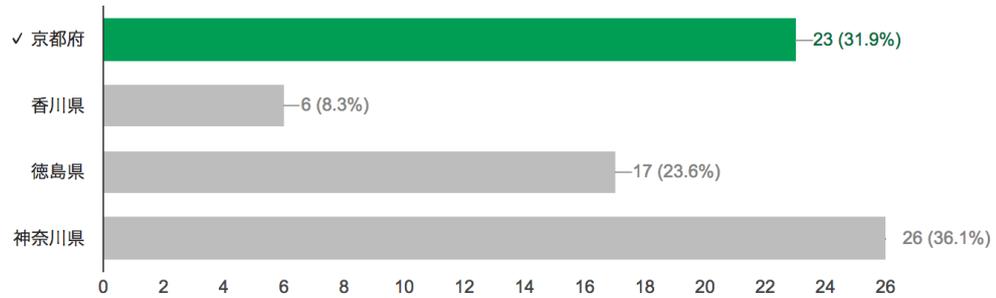


→ 仁木町は果樹栽培が盛んで、マスコットキャラクターは、さくらんぼの「ニキボー」です。弟の「タケボー」と仁木町の観光 PR を頑張っています。スズメが苦手です。

【上級編（7問×7点）】

次のうち、後志管内の面積（4305.83平方km）より広い都道府県はどれでしょうか。

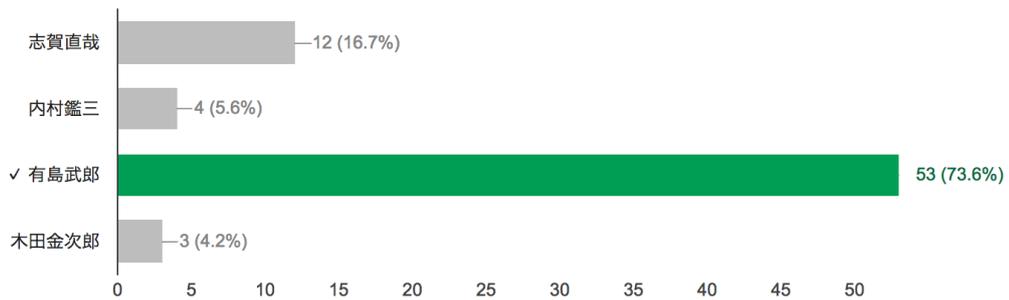
23/72 件の正しい回答



→ 後志管内（4305.83 km²）、京都府（4612.20 km²）、香川県（1876.73 km²）、徳島県（4146.93 km²）、神奈川県（2415.81 km²）。後志管内の面積は、都道府県の面積ランキングの33位に入ります。

「カインの末裔」「生れ出づる悩み」「或る女」などの作品が知られ、ニセコ町に記念館のある大正期の作家は誰でしょうか。

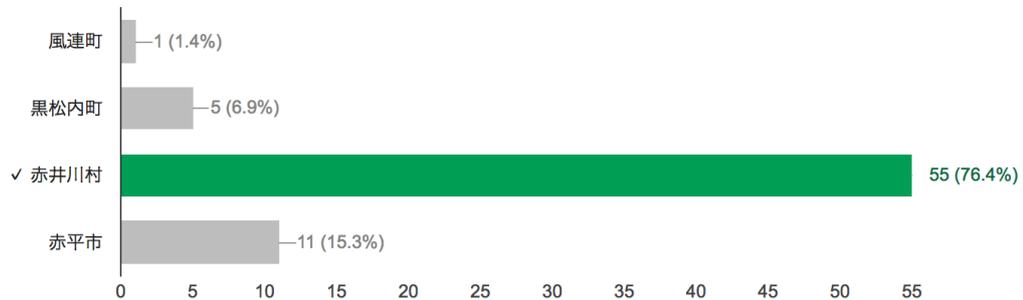
53/72 件の正しい回答



→ 有島記念館はニセコ町にあります。有島武郎（ありしまたけお）は、狩太（現在のニセコ町）に農場を所有していましたが、小作人に無償解放しました。

かつての火山の噴火口に位置し、マスコットキャラクター「あかりん」がPRしている自治体はどれでしょうか。

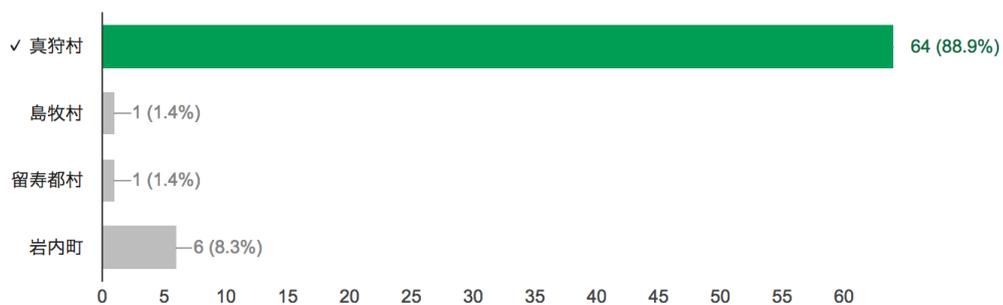
55/72 件の正しい回答



→ キロロリゾートの所在地、赤井川村は、かつての火山の噴火口でした。「噴火口に人が住む日本で唯一の村」と呼ばれています。アイヌ語「フレ・ペツ（赤い川）」が、そのまま村名の由来になりました。

代表曲「心のこり」「北酒場」「矢切の渡し」などで知られる演歌歌手の出身地であり、音楽が流れる銅像・記念碑がある自治体はどれでしょうか。

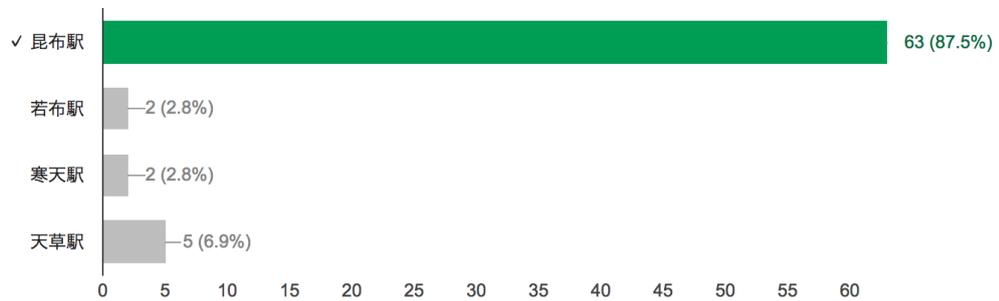
64/72 件の正しい回答



→ 演歌歌手の細川たかしは、真狩村（まっかりむら）の出身です。2015年の真狩村でのコンサートには、人口約2,100人の村に、5,000人が集まりました。細川たかし記念像は、手をかざすと音楽が流れます。

次のうち、蘭越町に存在するJR函館本線の駅はどれでしょうか。

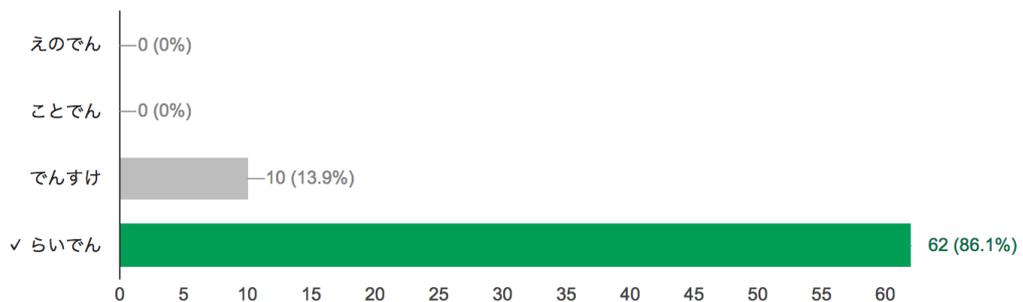
63/72 件の正しい回答



→ 昆布駅はJR 函館本線の駅です。2017 年現在、小樽方面・長万部方面、一日に各 7 本の電車を利用することができます。由来はアイヌ語の「小さなコブ山」の意味で、海草（コンブ、ワカメ、カンテン、テングサ）とは関係ありません。

元は海岸の名前に由来し、西瓜、メロン、カボチャなどに命名される共和町の地域ブランドはどれでしょうか。

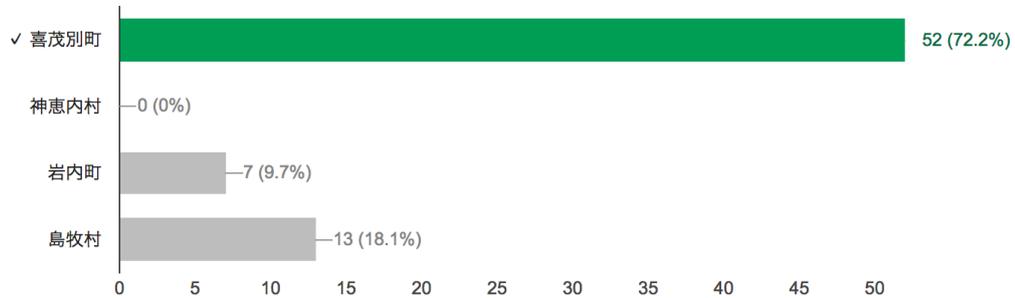
62/72 件の正しい回答



→ 共和町の地域ブランド「らいでん」は、雷電海岸が由来です。「らいでんスイカ」が有名ですが、近年はメロンやカボチャにも命名されています。なお「でんすけスイカ」は、北海道当麻町の名産です。

後志で唯一、石狩振興局と胆振総合振興局の両方に接しており、アニメ「ドラえもん」でジャイアン（1979～2005）を演じた声優の出身地はどれでしょうか。

52/72 件の正しい回答



→ 喜茂別町（きもべつちょう）のマスコットキャラ「ウサパラくん」は、「喜茂別町のどこか」に住んでいます。右耳がグリーン、左耳がホワイトのアスパラガスでできています。アニメ「ドラえもん」で、ジャイアンを演じた声優、たてかべ和也の出身地です。

【その他、感想】

- 面白い!! 勉強になりましたー。もう少し歴史問題欲しい～。
- 小樽出身ですが、楽しくクイズに挑戦できました。
- 面積のクイズは後志と関係なく、選択肢の中で一番面積が広いところが正解ですね。

4. 「しりべし教養クイズ」の作成を通して

- 地域に関する深い知識を問うには、本格的な「ご当地検定」が必要である。一方で、地域に対する興味や関心を喚起するには、難易度を下げたクイズなど、易しい形態にすることが望ましいのではないだろうか。その場合、問題と解答だけではなく、背景情報（フィードバック）にも力を入れる必要がある。
- 本取り組みでは、学生にテスト理論に関する指導を行い、その上で後志に関するテスト問題を作成させる予定だった。しかし、テスト理論の指導の時点で、学生にとって応用が難しく、どちらか一方に絞る必要があった。
- これは調査者自身の印象であるが、作題を通して地域に対する興味や関心の深まりが見られた。これまで名前しか知らなかった自治体について、歴史や特産品、ご当地キャラなどを調べることで、断片的だった知識がつながる経験が得られた。今後、クイズの作題を通じた地域理解のあり方について、より深い検討を行いたいと考えている。
- （そもそもの疑問として…）たとえば、愛着の対象として、市町村レベルや、都道府県レベルがあるものと考えられる。ここで、総合振興局レベルでの愛着はあるのだろうか？ 調査者は上川管内、旭川市の出身であるが、実際に上川管内の自治体について、「道内にしては近場」程度であった。まずは、北海道内での相互理解を深めるための手段として、簡単なレベルの「ご当地クイズによる交流」も、一つの方法として考えられる。